

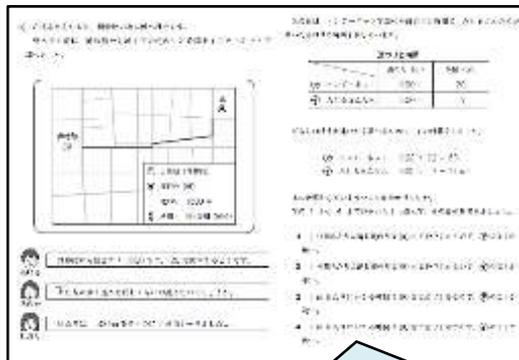
調査問題から見える「授業改善のポイント」〈小学校 算数〉

1 (3) 速さを求める除法の式と商の意味を理解しているかどうかを見る問題

[変化と関係] 〈平均正答率 県 50.0% (全国比-5.8)〉

調査結果の分析

- ・誤答として、2 (1分間あたりに進む道のりは80mと71.4mなので、④のほうが速い) を選択した児童は、全体の27.1%であった。
- ・単位量当たりの大きさの意味及び表し方を理解し、単位量当たりの大きさを用いて比べることに課題がある。



⑦と④の二つの速さを求める式の意味について正しいものを選ぶ。

【授業改善のポイント】

○除法の式と商の意味を理解できるようにする指導を工夫する

- 活動例
- ・除数、被除数、商が何を表す数であるのかを確認し合い、割ることの意味の理解を深める。
  - ・具体物や図、表、数直線などを用いて式と対応させながら、数値や演算の意味を明確にして説明する。

○単位量当たりの大きさの比べ方を理解できるようにする指導を工夫する

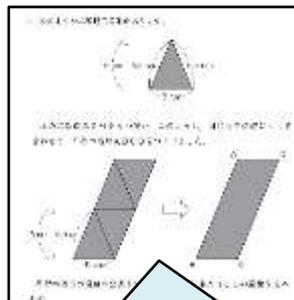
- 活動例
- ・1分あたりに進んだ道のりを表す数値と、1mあたりにかかる時間を表す数値について、具体的な場面と結びつけながら、どちらが速いかをどのように判断するかを考える。
  - ・道のりと時間のどちらか一方を比べやすい数値にそろえて、その大小を判断するような学習活動の経験を重ねる。

2 (3) 複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述する問題

[図形] 〈平均正答率 県 44.8% (全国比-1.2)〉

調査結果の分析

- ・平行四辺形ABCDの高さを「6.5cm (斜辺) の二つ分」と捉えた誤答が全体の12.7%である。平行四辺形の高さについての理解に課題がある。
- ・公式を用いて図形の面積を求める際に、問題の解決のために必要な情報を見いだすことに課題がある。



平行四辺形を構成する二等辺三角形から、「高さ」を見だし、求め方を説明する

【授業改善のポイント】

○問題解決の見通しをもたせ、情報過多な図形から必要な情報を見いださせるような活動を充実する

- 活動例
- ・図に示された情報からどの数値を用いるのかを判断し、図に表して説明する。
  - ・問題解決における思考の過程や判断の理由を、式や言葉を使って記述する。

○既習の学習を基に考え、判断し、理解を深める指導を工夫する

- 活動例
- ・既習の求積可能な図形の面積の求め方を基に、何を用いてどのように求めたのかを整理し、式や言葉を使って記述する。
  - ・ICT機器や具体物やコンピュータを活用し、図形を動的に提示させながら、面積の求め方について説明する。